

# 第3回ミニセミナーを実施しました



地域支援センター

今年度も小学校や中学校、各事業所等の方々を対象に、ミニセミナーを実施しています。

第3回は12月17日（金）に「特別な支援を必要とする児童生徒の理解と対応について～スクールカウンセラーの視点から～」というテーマで、いわき市スクールカウンセラー臨床心理士・公認心理師の千葉翔平様を講師にお招きし、実施しました。

発達障がいのある子どもの理解を深めるにあたっては、子どもの行動の背景（発達障がい特性）を理解して対応、検討することが大切であるとお話がありました。また、支援するのみではなく、支援しながら評価する視点を持つことや、発達障がい特性についての勉強をすることの必要性についても改めて気づくことができました。

参加した方々からは、以下のような様々な感想をいただきました。

- ・発達障がいの特性がある子どもにとって、失敗体験は「分からない。」「できない。」体験になってしまうことが分かりました。失敗体験を最小限にするために、支援者が試行錯誤するということを常に意識して、支援していきたいと思いました。また、達成可能な目標を設定して、「これならできそう。」と思わせることが大切であることが分かりました。
- ・特性の理解、支援、かわり、評価は一体であることが分かりました。支援者が評価者の視点を持ち、子供に合った支援の量や質を吟味することの大切さを改めて感じました。
- ・発達特性に応じた環境の整え方や視覚的支援の実践例を提示していただき、大変分かりやすかったです。



第3回ミニセミナーをもちまして、今年度のミニセミナーは終了となります。  
来年度も実施する予定ですので、ぜひご参加ください。